

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
見付地区

平成24年11月

静岡県磐田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	景観満足度の向上 (景観が好ましくないと 感じている人の率)	%	40	30	16.12	確定 見込み ●	○	あり なし -	-	18.54	H24年9月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	電線地中化や小路の石畳調化により、宿場町としての風情が創出され、地区の景観満足度が向上している。
指標2	観光交流客数の増加	人/年	158,500	178,500	186,040	確定 見込み ●	○	あり なし -	-	174,855	H24年6月	△	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧赤松家やいこいの広場など観光拠点の整備により、地区内の回遊性が高まり、観光客数が増加した。
指標3	歩行者数交通量の増加	人/12時間	675	742	772	確定 見込み ●	○	あり なし -	-	780	H24年7月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	見付天神線の整備により通過車両が分散化され、本通線歩道整備により歩行者の安全が確保された。
指標4	-	-	-	-	-	確定 見込み -	-	あり なし -	-	-	H 年月	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
指標5	-	-	-	-	-	確定 見込み -	-	あり なし -	-	-	H 年月	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	-	-	/	/	-	確定 見込み -	/	/	-	-	H 年月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標2	-	-	/	/	-	確定 見込み -	/	/	-	-	H 年月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標3	-	-	/	/	-	確定 見込み -	/	/	-	-	H 年月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	景観満足度の持続・向上	(仮称)景観計画策定検討会の開催。	景観計画・景観条例を策定するため、準備会の組織・委員募集などについて検討中である。	-
	観光客数の維持・増加	土蔵を利用したギャラリーなどのイベントを開催(旧赤松家)。遠州大名行列や見付天神裸祭等のイベントで休憩所などとして活用(いこいの広場)。	歴史的建築物を利用した施設は、市民や観光客に交流・にぎわい・いこいの場として利用されている。	-
	歩行者の安全確保	歩行者用ベンチの設置。 見付本通線の歩道整備(第2工区300m)を実施。	快適な歩行者空間が創出されている。	-
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歴史的景観を活かしたまちづくりの継続	見付本通線の電線地中化事業(第3工区140m)に着手。	見付本通線西側全体の電線地中化事業が完了するため、まち並みが統一され景観の向上が見込まれる。	見付本通線沿線の建築等に関するルールの策定。 小路整備(石畳調化)の推進。
	歴史的建造物の保存・活用	-	-	歴史的建造物等の保存・整備の推進。
	駐車スペースの利便性の向上	-	-	駐車場整備の推進。
	地区の安全確保	見付交番設置要望を実施(H18から継続実施)。	県内の警察署の統廃合と既存施設の耐震化等が優先されている。	要望の継続。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-	-	-	-
-	-	-	-